



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2011年12月4日号
政府交渉特集

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
★TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com ホームページ http://jcp-kagoshima.com
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/

住民要求実現へ政府交渉



まつざき真琴県議は、11月25日に、党地方議員や住民団体とともに、住民要求実現のために政府省庁と交渉を行いました。赤嶺政賢衆院議員と田村貴昭党九州・沖縄ブロック事務所長が同行しました。ご意見・ご要望をお聞かせください。

環境省

水俣病被害者の認定・救済のため、「特措法」にもとづく申請窓口を閉じないことや不知火海沿岸での健康調査の実施、年齢・地域による被害者線引きの撤回などを要求。「患者がたたかった裁判では、対象地域外の原告の7割が救済された。その到達を行政にも反映させるべき。」と訴えました。

経済産業省

川内原発3号機増設中止と1・2号機の廃炉について、九州電力に要請することを求めました。

また、政府として、原発について、期限を決めて撤退することを決断し、再生可能な自然エネルギーの爆発的な開発・普及を行うことを強く求めました。

厚生労働省

国民健康保険の負担の軽減のために国が財政的な負担を行うことや、介護保険の保険料・利用料負担軽減策を求め、グループホームの夜間の一人体制の早急な改善を求めました。

国土交通省

鹿児島県西部で住民の足を担う第3セクター・肥薩おれんじ鉄道に対するJR九州からの要員派遣の継続と国による支援を求めました。

また、奄美地方で1年のうちに3回も豪雨災害が発生していることから、住民の安全と安心の確保のために、早い段階で予測・予報の気象情報を提供できるよう気象台の機能充実を求めました。

防衛省

馬毛島への米空母艦載機の離着陸訓練の移転について、まつざき県議は、地元1市3町の首長・議長や地元住民、県知事が明確に反対していることを示し、「訓練移転は断固反対というのが地元の総意だ」と国に計画断念を求めました。防衛省側は「説明を尽くし地元理解を求め」と計画に固執しました。

赤嶺議員は知事と県議会議長から反対を伝えられた翌日に防衛大臣が関連予算の計上に言及したことを「地元の意思を踏みにじるもので、撤回すべき」と批判しました。「地元が反対しても国が押し付けようとする構図は名護市の辺野古と同じ。決して前には進めない」と指摘しました。

農林水産省

TPPについては、鹿児島県の農業や関連産業への影響を示し、交渉参加をしないことを強く求めました。

また、サル、シカ、イノシシ等の野生鳥獣による被害が増大している現状を訴え、捕獲・駆除のための予算確保と抜本的な対策を求めました。

さらに、今年度3月で終了することになる軽油引取税の課税免除について、来年度以降の継続について要求しました。

12月議会が始まりました

今議会は一般質問はできませんが、11月29日には、職員給与の改定で、質疑、討論を行いました。

12月15日(木) 原子力安全対策等特別委員会
12月16日(金) 行財政改革特別委員会